

映像表現講座

DRONE

フライトオペレーター講習

国土交通省 航空局 管理団体・講習団体 操縦技能証明証 DPCA認定 ドローン技能講習会

講座教室	総合体育館
講座時間	9:00~17:00
講座回数	全2回
募集人数	16名 (最少開講人員4名)
講座概要	講座説明動画をUNIPAで配信

ドローンを産業界で活かす

ドローンの活用は映像・写真空撮にとどまらず、農業、測量、インフラ点検からイベントまで、各産業に多岐にわたり広がりをみせています。しかし、ドローンの利活用には、正しい知識と適正な操縦技術を習得することが必要不可欠です。

講習実績 業界トップクラスの修了者数6,000名超!!

2015年の協会発足以来、多くの自治体・官公庁・消防・警察・企業の方々に受講いただき、圧倒的な運営実績を上げています。

操縦者にとって必要な知識と技能を確実に学び、就職活動においては、アピールポイントに、ビジネスシーンにおいては、信頼性につなげることができる国土交通省「操縦技能証明証」(DPCA発行)の取得を目指します。

想定される業種・職種

映像制作 物流 農林業
 建築・土木 各種調査、点検、測量
 エンターテインメント業界
 新聞社 報道

申込
基本情報

	受講費用		申込締切
	学生	卒業生など	
前期クラス	70,000円	80,000円	5月31日(月)
後期クラス			10月28日(木)

※前期クラスと後期クラスは同じ内容です。
 ※講習費用には、教材費・修了検定料・機体及び機材使用料・保険料が含まれます。
 ※2022年3月卒業見込の4回生は、後期クラスの受講は出来ません。
 ※募集人数を超えた場合は、抽選とします。

日程
カリキュラム

日数	日程 (前期クラス)	日程 (後期クラス)	内容(予定)	※国土交通省 航空局 HP掲載
	実技初日までに各自受講のこと (受講期間は実技初日の約1ヶ月前から可能)		〈座学(eラーニング)〉 受講時間約7時間 ●オリエンテーション ●無人航空機概論 ●運用事例紹介 ●法律・ルール ●許可申請について ●安全運航管理 ・リスクアセスメント ・リスクマネジメント ●目視外、夜間飛行の注意点と課題、法律制度面のルール確認 ●気象 ●電波 ●バッテリーの取扱方法 / 点検整備 ●撮影の基本設定について ●機体運用方法について ●座学テスト	
1	9/19(日)	3/2(水)	〈実技1日目〉 国土交通省飛行マニュアル2-1をベースに実施 ●フライトシミュレーター演習 ●GPSを入れた状態での飛行を実施できる能力確認 ・安定した離陸及び着陸 ・上昇 ・ホバリング ●ATTIモードでのホバリング ●ATTIモードでの前後左右四角移動 ●ATTIモードでの水平面移動 ●総合練習 ●検定試験 ●対面・側面飛行 ●今後の練習方法について	
2	9/20(月)	3/3(木)	〈実技2日目〉 国土交通省飛行マニュアル2-2をベースに実施 ●国土交通省飛行マニュアル2-1 技量確認 ●側面ホバリング・対面ホバリング操作の習得 ●側面・対面 四角形移動 ●進行方向 四角形移動 ●円移動 ●8の字移動 ●見極めの実施 ●目視外飛行操作の取得 ・動画 / 静止画撮影について ●夜間飛行 (可能な場合) ●自動航行操作の確認 ●実技終了検定	
予備日	9/23(木)	3/4(金)		
予備日	9/26(日)	3/7(月)		

※講座が休講になった場合、予定を繰り下げて行い、予備日に振り替えます。
 ※講座の進捗状況にあわせてカリキュラムを変更する場合があります。

操縦技能
証明証の
取得に
ついて

操縦技能証明証取得までの流れ

DRONEフライトオペレーター講習
受講
(eラーニング・実技)

エクステンションセンターへ申し込み、受講する

受講後、6ヶ月以内にフ
ライトシミュレーター等
を利用し、各自で残り3
時間の飛行訓練を実施する
2日間の実技とあわせて10時間以上の飛行
履歴を作成

操縦技能証明証
発行
16,500円

ドローン撮影クリエイターズ協会 (DPCA) へ各自で手続き

操縦技能証明証
更新手続き
(有料)

(1年ごと)

国土交通省 DRONE フライトオペレーター講習会とは

この講習会は、ドローン初心者の方から経験者の方までを対象に国土交通省が規定するカリキュラムに則った「ドローン操縦者育成プログラム」を行う内容です。

検定試験に合格し、飛行時間 10 時間を証明できた方には国土交通省への飛行許可審査に活用できる国土交通省「技能認証」を発行いたします。

この技能認証資格は今後の就職活動時等にも活用することが可能です。



～こんな方にオススメです～

- ドローンを使用した撮影を行いたい
- 就職活動にドローン資格を活かしたい
- ドローン操縦スキルを身につけておきたい

安心・安全の講習体制！！



DRONEフライトオペレーター講習では実技講習においてコーチモードを採用しています。

コーチモードとは、インストラクターが受講者の隣で送信機を持って指導する方式のことで、この講習体制によって実技講習時万が一誤った操作によって機体が意図しない方向へ移動した場合でも、すぐにインストラクターが危険回避できるというものです。

初心者の方にも安全に安心して受講いただくことが可能です。